

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ウ	安定した工業用水・エネルギーの提供	施策	① 工業用水・エネルギーの安定的確保の促進	
			施策の小項目名	○工業用水道施設の整備	
主な取組	工業用水道施設整備事業			実施計画記載頁	291
対応する主な課題	①島嶼県である本県において工業用水道施設が地震等により被災した場合、他府県からの支援等が困難であり、広範囲かつ長期にわたる断水の発生が予測されることから、老朽化施設の計画的な更新、耐震化を進めていく必要がある。				

1 取組の概要(Plan)

取組内容		年度別計画				
		29	30	31	32	33
島嶼県である本県において、工業用水道施設が地震等により被災した場合、他府県からの支援等が困難であり、広範囲かつ長期にわたっての断水が危惧されることから、更新に合わせて耐震化を推進する。		導水路トンネル改築の工事・設計				
実施主体	県					
担当部課【連絡先】	企業局配水管理課	【098-866-2810】			工業用水道施設の更新、耐震化	

2 取組の状況(Do)

(1)取組の進捗状況 (単位:千円)

予算事業名							H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
沖縄工業用水道事業									
一括交付金(ハード)	直接実施	16,134(県単)	75,129(県単)	112,007(県単+ハード交付金)	27,936	58,693	57,441	一括交付金(ハード)	○H29年度: 久志浄水場中央監視制御設備工事、東系列導水路トンネル改築工事 ○H30年度: 東系列導水路トンネル改築工事、配水管整備(設計)
-									
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額	当初予算額	主な財源	平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画
		-	-	-	-	-	-		○H29年度: - ○H30年度: -

様式1(主な取組)

活動指標名	工業用水の給水能力				H29年度			H29年度 決算見込額 合計	進捗状況	活動概要
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
		30,000m ³ / 日	30,000m ³ / 日	30,000m ³ / 日	30,000m ³ / 日	30,000m ³ / 日	30,000m ³ / 日	100.0%	58,693	順調
活動指標名	-				H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名	-				H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成29年度の取組改善案						反映状況				
①引き続き水道事業におけるアセットマネジメント(資産管理)の手法を活用して、施設整備計画の見直しを行い、更新する施設の優先度を考慮し、計画的に施設整備を推進する。						①アセットマネジメント(資産管理)の手法を活用した上で老朽化施設の計画的な更新に取り組むとともに、各浄水管理事務所との情報交換を行って施設の状態を把握し、優先順位をつけて施設整備計画に反映させた。				



様式1(主な取組)

3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

・本土復帰後に建設が進められた工業用水道施設の経年化が進み、今後大量に更新時期を迎えるため、優先順位をつけて改築を進める必要がある。

○外部環境の変化

・島嶼県である本県において工業用水道施設が地震等により被災した場合、他府県からの支援等が困難なため、広範囲かつ長期にわたって断水が危惧されることから、災害に強い工業用水道施設整備の視点から施設の耐震化を推進していく必要がある。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・基幹施設である東系列導水路トンネル、久志浄水場、久志～石川導水管の改築は、期間を要することから、計画的な工事の執行に努める。

4 取組の改善案(Action)

・引き続き水道事業におけるアセットマネジメント(資産管理)の手法を活用して、施設整備計画の見直しを行い、更新する施設の優先度を考慮し、計画的に施設整備を推進する。